

ラット由来カルモジュリン依存性プロテインキナーゼII、組換え型

Cat. No. NATE-1273

Lot. No. (See product label)

はじめに

○明

セリン・スレオニンタンパク質キナーゼ：これらのキナーゼは、神経伝達物質の放出、刺激誘発遺伝子発現の制御、および微小管関連タンパク質のリン酸化に関与しているようです。

別名

カルモジュリン依存性プロテインキナーゼII; 9026-43-1

製品情報

種

ラット

由来

S. frugiperda Sf9

形態

100 mM NaCl、50 mM HEPES (pH 7.5 25°C)、0.1 mM EDTA、1 mM DTT、0.01% Brij 35 および 50% グリセロール。

分子量

Apparent: 33 kDa Theoretical: 36 kDa

純度

> SDS-PAGEによって95%決定される

活性

5,000,000 ユニット/mg

濃度

500,000 ユニット/ml

単位定義

1ユニットは、ATP (200mM) からAutocamtide-2 (CaMKIIペプチド基質)への1 pmolのリン酸の転送を触媒するために必要な活性化されたCaMKIIの量として定義され、30°Cで1分間、総反応体積30 μlで行われます。

保管・発送情報

保存方法

-70°Cで。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。